

7 様々な暴力について

(1) ハラスメントを受けた経験

問19 あなたは、最近3年の間に、職場・学校・地域などの身近なところで、セクシュアル・ハラスメントや職場における妊娠・出産に関するハラスメント、育児休業等に関するハラスメントを受けたことがありますか。

(IとJに関しては、あなた自身及びパートナーについてお答えください。)

全体は、「職場で受けた」の割合は『(G)じろじろ見られたり、容姿や年齢のことを話題にされた』(5.6%)が最も高くなっている。

女性がハラスメントを受けた場所は、いずれの項目も「職場で受けた」の割合が最も高い。

前回調査との比較でみると、全体は「職場で受けた」の割合は『(E)宴席で、お酌を強要された』で前回より2.1ポイント高くなっている。

【回答者本人】

(単位：MA%)		今回調査						前回調査(令和2年)					
		n	職場で受けた	学校で受けた	地域で受けた	受けたことはない	無回答	n	職場で受けた	学校で受けた	地域で受けた	受けたことはない	無回答
(A) 地位や権限を利用して、性的な関係を迫られた	全体	1,365	1.9	0.4	0.1	84.9	13.0	1,630	0.9	-	0.2	86.3	12.6
	女性	723	2.4	0.4	0.1	86.6	10.9	928	1.6	-	0.3	87.4	10.8
	男性	477	1.0	0.2	-	90.4	8.6	603	-	-	0.2	88.6	11.3
(B) 食事やデートにしつこく誘われた	全体	1,365	2.3	0.4	0.4	83.7	13.5	1,630	1.9	0.3	0.7	84.1	13.0
	女性	723	3.9	0.6	0.3	84.0	11.5	928	2.9	0.4	1.2	84.3	11.3
	男性	477	0.2	0.2	0.4	90.6	8.8	603	0.5	0.2	0.2	87.6	11.6
(C) さわる、抱きつくなど肉体的接触を受けた	全体	1,365	3.1	0.2	1.0	82.5	13.3	1,630	2.8	0.2	1.0	82.8	13.3
	女性	723	4.6	0.3	1.5	82.3	11.3	928	4.6	0.3	1.7	82.0	11.5
	男性	477	0.6	0.2	-	90.4	9.0	603	0.2	0.2	0.2	87.7	11.8
(D) 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられたり、性的な噂をたてられたりした	全体	1,365	4.2	0.7	0.6	81.5	13.5	1,630	4.4	0.6	0.8	81.7	12.9
	女性	723	5.9	0.8	0.7	81.5	11.6	928	6.7	0.8	1.3	80.4	11.3
	男性	477	2.3	0.8	0.4	88.3	8.8	603	1.2	0.3	-	87.4	11.3
(E) 宴席で、お酌を強要された	全体	1,365	5.3	0.2	1.0	80.1	13.6	1,630	3.2	0.1	0.4	83.1	13.3
	女性	723	6.6	0.1	1.2	80.9	11.3	928	4.8	0.2	0.6	82.7	11.7
	男性	477	4.4	0.4	0.4	85.7	9.4	603	0.8	-	0.2	87.1	11.9
(F) 異性とのお付き合いや結婚予定、出産予定などプライベートなことについてたびたび聞かれた	全体	1,365	5.0	0.3	1.3	80.0	13.7	1,630	4.1	0.4	0.6	82.1	13.3
	女性	723	5.1	0.4	1.7	81.6	11.5	928	4.8	0.2	0.6	82.7	11.7
	男性	477	5.0	0.2	1.0	84.7	9.4	603	0.8	-	0.2	87.1	11.9
(G) じろじろ見られたり、容姿や年齢のことを話題にされた	全体	1,365	5.6	1.0	1.5	78.6	13.9	1,630	4.5	0.6	1.8	80.1	13.4
	女性	723	7.1	1.5	1.9	78.6	11.6	928	7.3	0.8	2.6	78.3	11.7
	男性	477	3.8	0.4	0.6	86.2	9.6	603	1.0	0.5	0.7	85.9	12.1
(H) 「男のくせに」「女のくせに」などの性差別的な言葉をかけられた	全体	1,365	4.1	1.2	1.8	79.8	13.8	1,630	3.6	0.7	1.2	81.9	13.1
	女性	723	4.4	1.5	2.6	80.8	11.8	928	4.5	0.4	1.5	81.7	12.1
	男性	477	4.0	1.0	0.6	85.3	9.2	603	2.5	1.3	0.5	85.4	11.1
(I) 妊娠・出産・育児休業の取得などをきっかけに、精神的・肉体的な嫌がらせを受けた	全体	1,365	1.5	-	-	80.7	17.9	1,630	0.6	-	0.1	83.1	16.1
	女性	723	1.5	-	-	83.5	14.9	928	1.1	-	0.2	85.9	12.8
	男性	477	0.8	-	-	84.5	14.7	603	-	-	-	82.8	17.2
(J) 妊娠・出産・育児休業の取得などを理由に、解雇や雇い止め、自主退職の強要を受けた	全体	1,365	1.1	-	-	80.8	18.1	1,630	0.7	-	-	83.1	16.3
	女性	723	1.4	-	-	83.7	14.9	928	1.1	-	-	85.8	13.1
	男性	477	0.2	-	-	84.5	15.3	603	0.2	-	-	82.8	17.1

【パートナー】

(単位：MA%)		今回調査				
		n	職場で受けた	受けたことはない	わからない・パートナーは知らない	無回答
(I) 妊娠・出産・育児休業の取得などをきっかけに、精神的・肉体的な嫌がらせを受けた	全体	1,365	1.3	25.5	16.5	56.7
	女性	723	0.7	25.0	15.1	59.2
	男性	477	2.5	30.6	21.8	45.1
(J) 妊娠・出産・育児休業の取得などを理由に、解雇や雇い止め、自主退職の強要を受けた	全体	1,365	0.5	27.0	15.8	56.8
	女性	723	0.1	25.9	14.7	59.3
	男性	477	0.8	33.5	20.5	45.1

(2) ハラスメント被害に関する相談相手

問19-1は、問19で一つでも「1」～「3」（ハラスメントを受けたことがある）と回答した方にお聞きします。

問19-1 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

全体は、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（52.2%）が最も多く、次いで「友人や知人」（26.7%）となっている。

性別で見ると、男女とも「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が最も高く、男性の割合が女性に比べて31.5ポイント高い。女性で「家族や親戚」「友人や知人」の割合が男性に比べて10ポイント以上高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体は「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が前回より高くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査（令和2年）		
	全体 (n=232)	女性 (n=144)	男性 (n=63)	全体 (n=218)	女性 (n=171)	男性 (n=39)
堺市各区役所「女性相談」	0.4	-	1.6	0.9	0.6	-
堺市男女共同参画交流の広場「女性の悩みの相談」「男性の悩みの相談」	-	-	-	-	-	-
堺市立男女共同参画センター相談	0.4	0.7	-	-	-	-
大阪府女性相談センター	-	-	-	0.5	0.6	-
労働局の雇用環境・均等部（室）	0.4	-	1.6	0.5	0.6	-
警察	1.7	1.4	3.2	0.9	1.2	-
民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラーなど）	0.4	-	1.6	-	-	-
医療関係者（医師、看護師など）	1.7	1.4	3.2	0.5	0.6	-
学校関係者（相談窓口、教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）	0.4	0.7	-	0.5	-	2.6
職場の相談窓口	5.2	6.3	3.2	2.8	3.5	-
家族や親戚	16.4	20.1	9.5	17.0	19.9	7.7
友人や知人	26.7	34.7	9.5	33.0	37.4	12.8
その他	3.0	3.5	-	4.1	4.7	2.6
どこ（だれ）にも相談しなかった	52.2	43.1	74.6	46.8	41.5	76.9
無回答	6.0	6.9	3.2	5.5	5.3	-

(3) ハラスメント被害について相談しなかった理由

問19-2は、問19-1で「14. どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。
 問19-2 あなたが、どこ(だれ)にも相談しなかったのはなぜですか。
 (あてはまるものすべてに○)

全体は、「相談するほどのことではないと思った」(56.2%)が最も多くなっている。
 性別で見ると、男女とも「相談するほどのことではないと思った」の割合が最も高くなっている。女性は「恥ずかしくてだれにも言えなかった」の割合が男性に比べて5.4ポイント高く、男性は「相談してもむだだと思った」の割合が女性に比べて8.1ポイント高い。
 前回調査との比較で見ると、全体は「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといった」の割合が前回より6.4ポイント低くなっている。

(単位: MA%)	今回調査			前回調査(令和2年)		
	全体 (n=121)	女性 (n=62)	男性 (n=47)	全体 (n=102)	女性 (n=71)	男性 (n=30)
どこ/だれに相談してよいのかわからなかった	13.2	14.5	14.9	9.8	9.9	6.7
恥ずかしくてだれにも言えなかった	7.4	9.7	4.3	8.8	7.0	13.3
相談してもむだだと思った	35.5	32.3	40.4	39.2	45.1	26.7
相談したことがわかると、もっとひどい暴力・嫌がらせを受けるといった	9.1	8.1	10.6	5.9	4.2	6.7
加害者に「だれにも言うな」と脅された	0.8	-	-	2.0	2.8	-
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思った	3.3	1.6	4.3			
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといった	13.2	14.5	12.8	19.6	18.3	23.3
世間体が悪い	1.7	-	2.1			
他の人を巻き込みたくなかった	7.4	8.1	8.5	5.9	7.0	3.3
周囲の人と、これまでのようなつき合いができなくなるといった	4.1	4.8	4.3	4.9	4.2	6.7
そのことについて思い出したくなかった	5.0	3.2	8.5	4.9	7.0	-
自分にも悪いところがあると思った	4.1	4.8	4.3	4.9	4.2	6.7
相手の行為は愛情の表現だと思った	3.3	3.2	4.3	2.9	2.8	3.3
相談するほどのことではないと思った	56.2	54.8	59.6	57.8	54.9	66.7
その他	5.8	4.8	6.4	4.9	5.6	3.3
無回答	0.8	-	2.1	-	-	-

※「相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思った」と「世間体が悪い」は今回調査の新規項目。

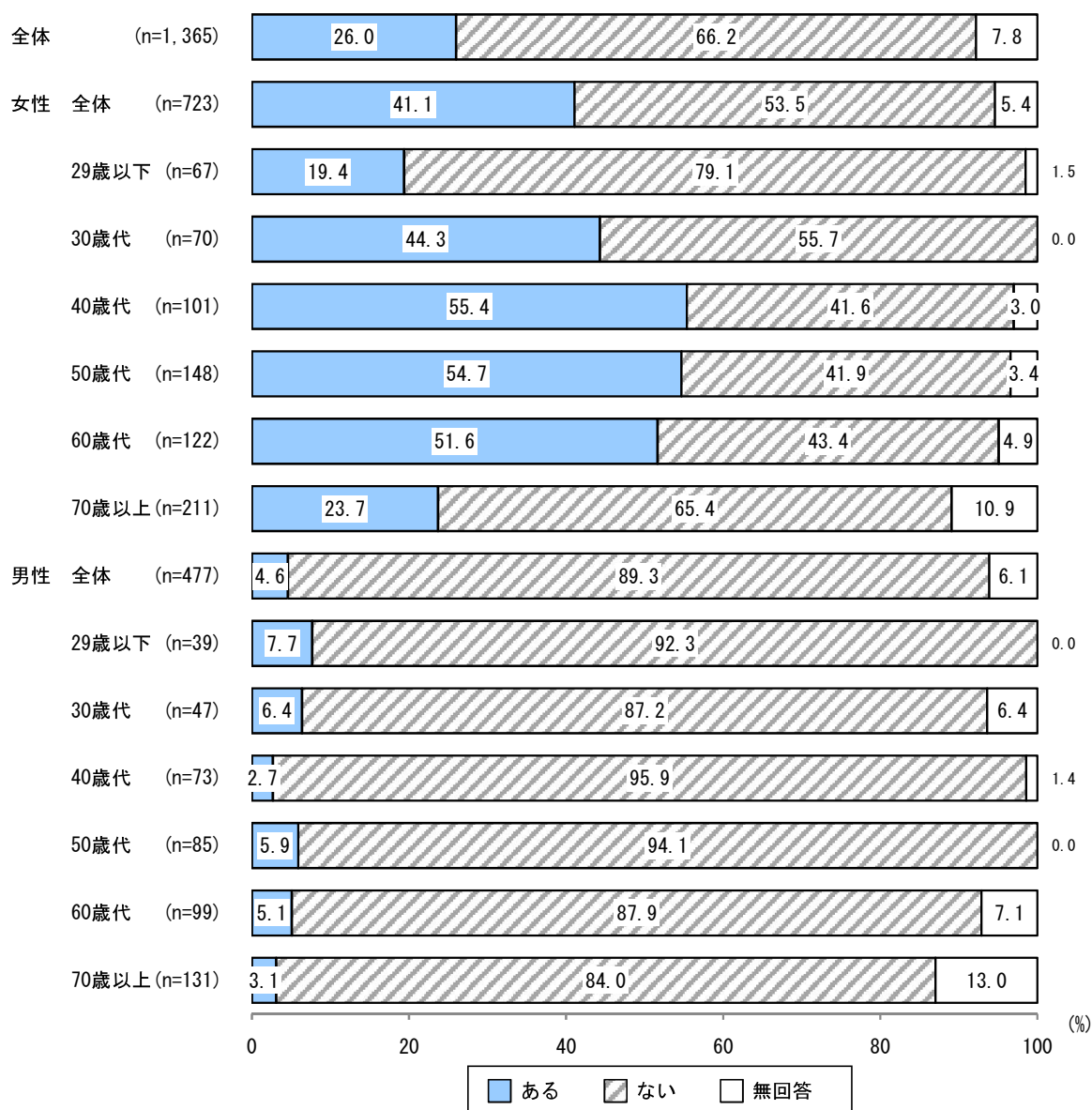
(4) 性暴力被害経験

問20 あなたはこれまで（こどものころを含めて）に、望まないのに性的な行為（※痴漢を含みます）をされたことがありますか。（○は一つ）

全体は、「ある」が26.0%、「ない」が66.2%となっている。

性別で見ると、「ある」の割合は男性より女性のほうが36.5ポイント高い。

性・年代別で見ると、女性の「ある」の割合がすべての年代で男性に比べて高く、30歳代～60歳代で男女差が大きい。



(5) 性暴力被害の内容

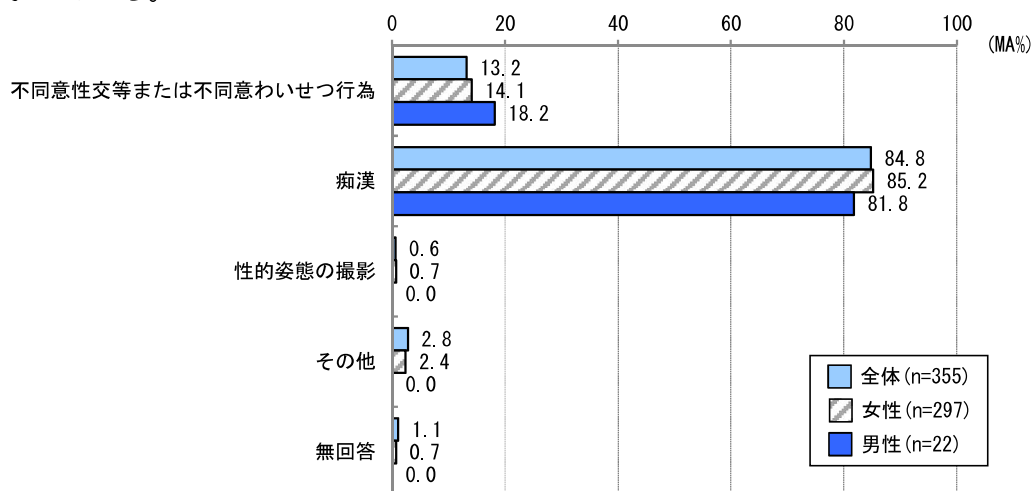
問20-1～4は、問20で「1.ある」と回答した方にお聞きします。

問20-1 あなたは、どのような被害にありましたか。(○は一つ)

複数被害にあわれた方は、直近のことについてお答えください。

全体は、「痴漢」(84.8%)が最も多く、次いで「不同意性交等または不同意わいせつ行為」(13.2%)となっている。

性別で見ると、男女とも「痴漢」の割合が最も高く、男性より女性のほうが3.4ポイント高い。男性の「不同意性交等または不同意わいせつ行為」の割合は女性より4.1ポイント高くなっている。

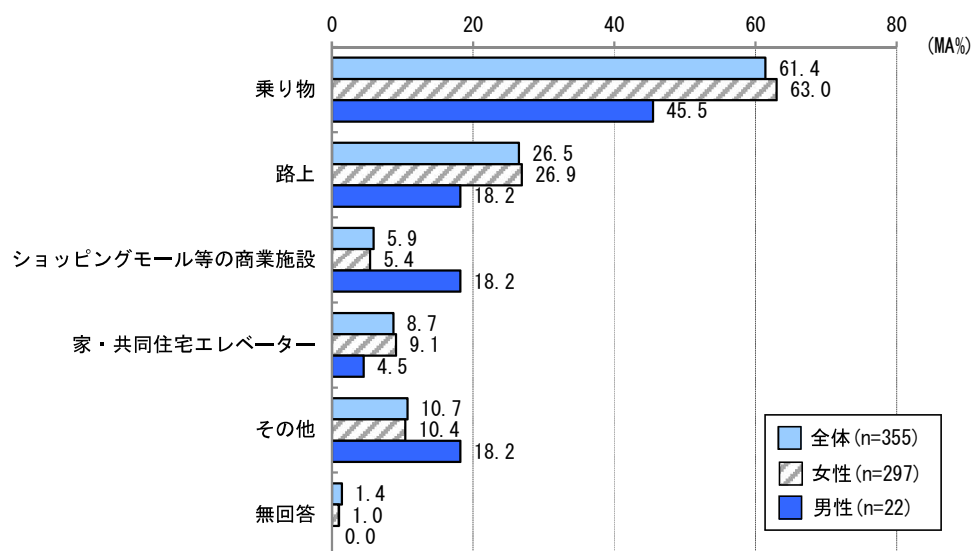


※設問文では「○は一つ」としているものの、複数選択した回答者が多かったため、複数回答設問として集計している。

(6) 性暴力被害にあった場所

問20-2 あなたは、どこで被害にありましたか。(○は一つ)

全体は、「乗り物」(61.4%)が最も多く、次いで「路上」(26.5%)となっている。性別で見ると、男女とも「乗り物」の割合が最も高く、男性より女性のほうが17.5ポイント高い。男性の「ショッピングモール等の商業施設」の割合は女性より12.8ポイント高くなっている。



※設問文では「○は一つ」としているものの、複数選択した回答者が多かったため、複数回答設問として集計している。

全体で最も被害が多い痴漢は「乗り物」(69.8%)が最も多く、次いで「路上」(29.9%)となっている。不同意性交等または不同意わいせつ行為は「家・共同住宅エレベーター」(42.6%)が最も多い。

(単位: MA%)	n	乗り物	路上	ショッピングモール等の商業施設	家・共同住宅エレベーター	その他	無回答
全体	355	61.4	26.5	5.9	8.7	10.7	1.4
不同意性交等または不同意わいせつ行為	47	25.5	17.0	4.3	42.6	29.8	2.1
痴漢	301	69.8	29.9	6.0	3.3	7.6	-
性的姿態の撮影	2	50.0	50.0	-	50.0	100.0	-
その他	10	20.0	10.0	10.0	30.0	40.0	-

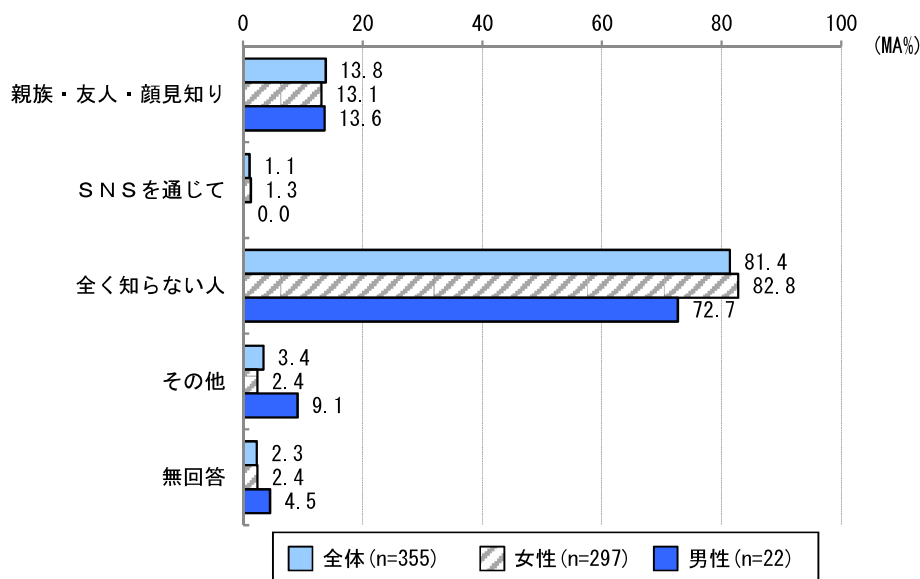
※被害の内容、被害にあった場所とも複数回答

(7) 加害者と知り合ったきっかけ

問20-3 あなたは、性的な行為を行った者とはどのように知り合いましたか。
(○は一つ)

全体は、「全く知らない人」(81.4%)で最も多く、次いで「親族・友人・顔見知り」(13.8%)となっている。

性別で見ると、男女とも「全く知らない人」の割合が最も高く、男性より女性のほうが10.1ポイント高くなっている。



※設問文では「○は一つ」としているものの、複数選択した回答者が多かったため、複数回答設問として集計している。

全体で最も被害が多い痴漢は「全く知らない人」(92.0%)が最も多い。不同意性交等または不同意わいせつ行為は「親族・友人・顔見知り」(61.7%)が最も多い。

(単位: MA%)	n	親族・友人・顔見知り	SNSを通じて	全く知らない人	その他	無回答
全体	355	13.8	1.1	81.4	3.4	2.3
不同意性交等または不同意わいせつ行為	47	61.7	6.4	27.7	10.6	2.1
痴漢	301	6.6	0.3	92.0	1.7	1.7
性的姿態の撮影	2	50.0	-	50.0	-	-
その他	10	30.0	-	40.0	30.0	-

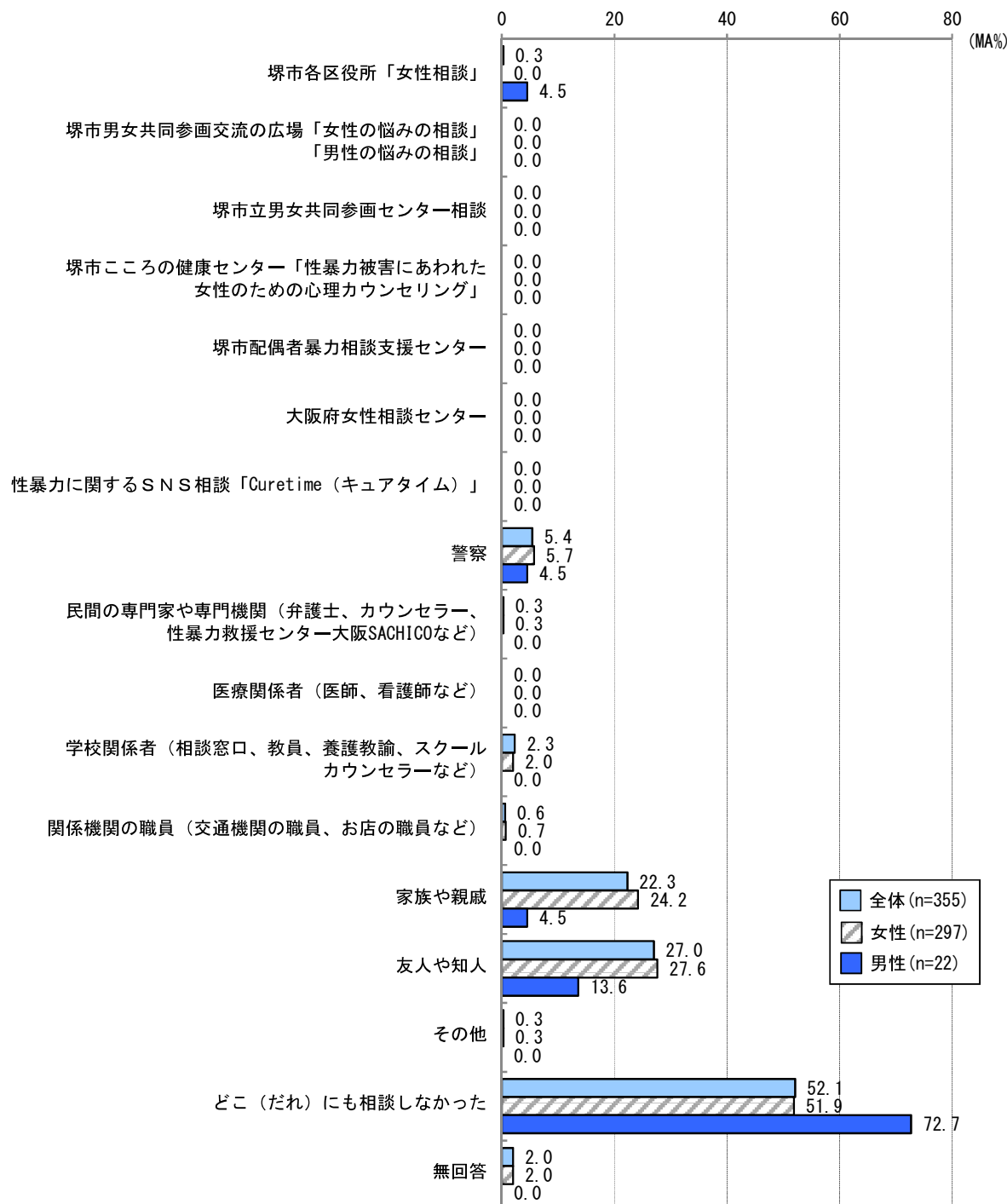
※被害の内容、加害者と知り合ったきっかけとも複数回答

(8) 性暴力についての相談相手

問20-4 あなたは、そのことを誰かに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体は、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(52.1%)が最も多く、次いで「友人や知人」(27.0%)、「家族や親戚」(22.3%)となっている。

性別で見ると、男女とも「どこ(だれ)にも相談しなかった」の割合が最も高く、女性より男性のほうが20.8ポイント高い。女性の「家族や親戚」「友人や知人」の割合は男性より10ポイント以上高くなっている。



(9) 相談しなかった理由

問20-5は、問20-4で「16. どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。
 問20-5 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。
 （あてはまるものすべてに○）

全体は、「相談してもむだだと思った」（38.9%）が最も多く、次いで「恥ずかしくてだれにも言えなかった」（33.0%）となっている。

性別で見ると、女性は「相談してもむだだと思った」の割合が40.9%で最も高く、次いで「恥ずかしくてだれにも言えなかった」が31.8%となっている。

